



2021.7.22(木・祝) 17:00kickoff ヤンマースタジアム長居

大阪体育大学		1	0	前半	2	4	桃山学院大学
			1	後半	2		
86分	10 野寄 和哉		得点 (アシスト)			40分	33 片淵 竜鳳(29 水野 敏蓮)
						41分	19 池田 翔大(2 奥田 勇斗)
						60分	39 長友 陸翔 (33 片淵 竜鳳・19 池田 翔大)
						67分	29 水野 敏蓮(9 山口 海都)

準決勝の第1試合はびわこ大の棄権により、関福大の決勝進出が決まった。その為1試合開催となったヤンマースタジアム長居での準決勝は、大体大と桃山大の1部リーグ対決となった。気温30度を超える暑さの中行われた準々決勝はPK戦までもつれる死闘を制した両チーム。大体大は中3日、桃山大は中4日という体力的に厳しい日程での試合。選手の疲れも加味してか大体大は先発メンバーを大きく変更し、この試合に臨んだ。一方の桃山大は、準々決勝と先発メンバーの変更はせず、息の合った連携を見せた。40分、MF29、水野の鋭いスルーパスに体を投げ出したのはMF33、片淵。序盤に大体大に押し込まれていた桃山大だったが、少ないチャンスをものにして先制する。勢いづいた桃山大は41分、DF2、奥田が右サイドを駆け上がりクロスを上げると、頭で合わせたのはFW19、池田。立て続けの得点を決め2-0で前半を折り返す。反撃に出たい大体大は、後半開始からDF33、山根、59分にFW18、瀬尾、FW9、高橋を投入。しかし、桃山大の勢いは止まらない。60分には完璧な崩しからFW39、長友。67分には水野の右足一閃のミドルシュートが決まり、点差を広げる。一矢報いたい大体大は86分、MF10、野寄が自ら得たPKを確実に決めるが、1-4で試合終了。桃山大が決勝進出を決めた。1ゴール1アシストの水野は「チームの皆で力を1つにして勝てて良かった。決勝では、持ち味のクロスやシュート、縦突破を披露して優勝したい」と語った。



Reported by 奥山大輔

Match Preview 決勝の見どころ

2021.7.25(日) 13:30kickoff ヤンマーフィールド長居

桃山学院大学

VS

関西福祉大学



桃山大、石津主将は「全員がしっかりとハードワークをして、勝ちを信じた結果が出たと思います。決勝戦では、チーム一丸となって、選手スタッフサポーターのみんなで勝ちます。応援よろしくをお願いします。」と話した。注目選手にはFW42,草場をチョイス。「ガッツあふれるプレー、打点の高いヘディングで得点を量産する選手。ぜひ期待してください」と笑顔で話した。

関福大、服部主将は「18日の試合に勝利し、トレーニングからチームの士気の高まりをととも感じています。桃山学院大学も1部リーグを戦うチームですが、臆することなく自分達のサッカーを表現できるよう良い準備をして臨みたいと思います。また、コロナの影響で思わぬ形での決勝進出となりましたが、準々決勝の試合同様チャレンジャーとして粘り強く戦い、関西のチャンピオンとして全国大会を迎えられるように全力で戦います。」とコメント。また、注目選手として、FW10,奥村とDF3,井上の名を挙げた。「奥村は、2年生ながらチームの軸になる選手でスピードに乗ったドリブルや裏への抜け出しに優れており、得点能力だけではなく守備の鍵にもなる選手。井上は強いフィジカルを活かしたヘディングでの競り合いや、インターセプトを持ち味としています。決勝戦でも気持ちの入った熱いプレーでチームを助けたいと思います。」と話した。

※11:00から予定しておりました、大阪体育大学ーびわこ成蹊スポーツ大学の試合は、7月20日付でびわこ成蹊スポーツ大学が棄権し、大阪体育大学の不戦勝となりました。

①発熱等の場合は観戦をご遠慮ください



②健康チェックシートをプリントしてご持参ください



③マスクを着用してください



④こまめな手指消毒
⑤拍手での応援にご協力ください



※決勝は「制限付き有観客」での実施となります。諸注意を当連盟HPにてよく確認し、会場へお越しください。